



平成18年10月18日

各 位

会 社 名 リバーエレクトック株式会社
代表者名 代表取締役社長 若尾 富士男
(J A S D A Q ・ コード番号 : 6 6 6 6)
問合せ先 取締役総務本部長 秋山 正雄
T E L . 0 5 5 1 - 2 2 - 1 2 1 1

平成19年3月期（連結・単独）中間業績予想の修正に関するお知らせ

平成19年3月期（平成18年4月1日～平成19年3月31日）の中間業績予想について、平成18年5月19日付当社「平成18年3月期決算短信（連結）」及び同日付当社「平成18年3月期個別財務諸表の概要」にて発表いたしました中間業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成19年3月期 中間業績予想の修正等

(1) 連結中間業績予想（平成18年4月1日～平成18年9月30日）

（単位：百万円）

	売 上 高	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前回予想（A）	4,153	281	153
今回修正（B）	4,302	380	222
増減額（B - A）	148	99	68
増 減 率	3.6%	35.3%	44.7%
（ご参考） 前中間期実績 （平成18年3月期中間期）	3,750	89	4

(2) 個別中間業績予想（平成18年4月1日～平成18年9月30日）

（単位：百万円）

	売 上 高	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前回予想（A）	3,948	190	114
今回修正（B）	4,061	229	129
増減額（B - A）	112	38	14
増 減 率	2.8%	20.2%	13.0%
（ご参考） 前中間期実績 （平成18年3月期中間期）	3,567	144	84

2. 修正理由

売上高につきましては、水晶製品において、無線LAN、携帯電話、薄型テレビ関連向けなどの受注が期初計画よりも好調に推移いたしました。

経常利益につきましては、売上高の増加と売上原価率の改善等により連結・個別ともに予想を上回る見込みであります。

中間純利益につきましては、経常利益の増加に加え、固定資産除却損の発生、税金計算の見直し等を加味した結果、連結・個別ともに前回予想を上回る見通しであります。

なお、通期の業績予想につきましては、現在精査中であり、まとまり次第ご報告いたします。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により、上記予想数値とは異なる可能性があります。

以 上